

学 校

教育長 津野庄一郎

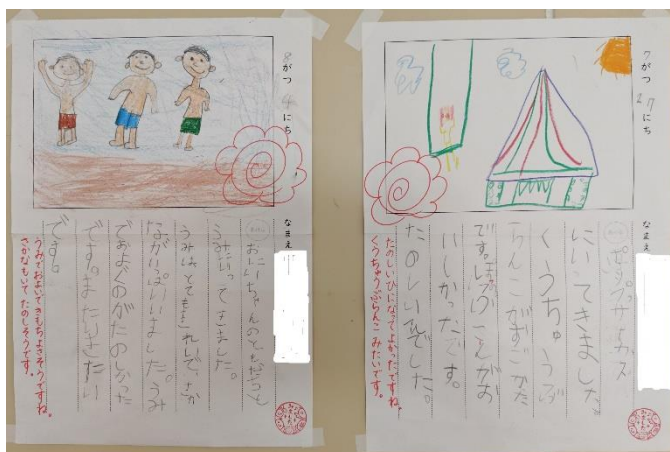
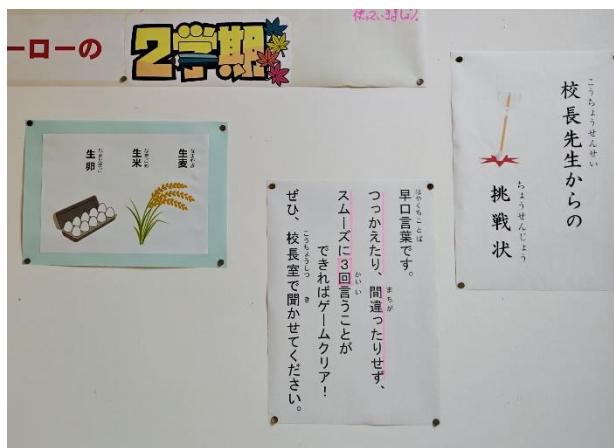


関川小学校（伊藤彰校長）で12日「フリー参観」がありました。村産材をふんだんに使った、木のぬくもりを肌で感じられる広く明るい校舎で学ぶ関川の子どもたち。我が子の様子を大勢の保護者が見に来ました。



今年度「複数担任制」で、きめ細かく子どもを観る体制をとる小学校。教室にはICT機器や大型スクリーンがあり、ICT支援員の阿部幸博先生もいます。どの教室も子どもたちは落ち着いて学んでおり、教職員の丁寧で温かい指導の確かさを感じます。教室や廊下の

壁面には習字や絵画、作文などの作品が掲示してあり、担任のコメントや花丸が添えられているのを見つけると、嬉しい気持ちになります。先生はちゃんと自分を見てくれていることが伝わるからです。校長室前には「校長先生からの挑戦状」が掲げられていました。わくわくします。



よい授業は教室に入った時に、今、子どもが何を学習しているのかが一目で分かることです。その肝は、「めあて（学習課題）」（二重丸と赤囲み）がきちんと黒板に示されているか否か。これを「授業スタンダード」と呼び、どの授業でもやるよう努めています。今、何を解決すべきなのか、何に取り組むのかがはっきりしない授業では、子どもは集中しません。「できた」「わかった」「認めてもらった」と学ぶ喜びのある授業を通して、子ども一人一人が力を伸ばしてほしいと願います。

<【写真】上：真剣に課題に取り組む子ども 下：廊下の掲示物>